

事務事業 No./名称	■サービス部門 市民-10 □支援部門		男女共同参画プラン推進事業				
主管課	人権・男女共同参画課	関連課	人権・男女共同参画施策推進連絡会の構成課				
分野名	男女共同参画社会						
目標 (目標値)	審議会等への女性委員の参画率の引き上げ。女性が社会参画しやすい環境の整備。審議会等への女性委員の登用 平成22年度末の目標30パーセント。						
人口等のデータ	データ区分	22年度	21年度	20年度	備考		
	人口	177,161人	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	世帯数	78,812世帯	78,131世帯	77,430世帯			
運営資源状況	事業の対象者数						
	決算値(千円)	3,933	4,113	5,607			
	(国・県)						
	(負担金等)	55	202	50			
	(一般財源)	3,878	3,911	5,557			
	人員配置数	2.0	2.0	2.0			
	人件費(千円)	17,166	17,704	18,464			
事務事業運営経費	協働のパートナー	専任相談員 アンサンプル21	専任相談員 アンサンプル21	専任相談員 アンサンプル21			
	総事業費(千円)	21,099	21,817	24,071			
	市民1人当りの経費(円)	119	123	136			
ベンチマーク (県内外自治体や民間団体との比較値)	団体名	横浜市	藤沢市	逗子市	茅ヶ崎市	横須賀市	三浦市
	女性登用目標値	35%	40%	40%	40%	30%	30%以上
目標年度	毎年	平成23年度	平成23年度	平成27年度	-	平成23年度	
指標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(年度)
審議会等における女性委員登用率を高める	◎	目標値	27%	30%			
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		実績値	27.80%	31.60%			

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。
小事業名	H22決算値	評価 適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)	⇒ 方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止
男女共同参画啓発事業	1,114千円	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	⇒ □A ■B □C □D □E	
	事業の概要	男女共同参画推進条例に沿って男女共同参画行政を推進し、啓発事業として、男女共同参画フォーラム等の開催、情報誌「パスポート」の発行等を行った。		
女性相談事業	2,650千円	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	⇒ □A ■B □C □D □E	
	事業の概要	面接・電話による女性相談業務を行った。		
女性史編さん事業	169千円	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	⇒ □A ■B □C □D □E	
	事業の概要	かまくらの女性史第4集「通史」の発行に向けた準備を行った。		
		①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	⇒ □A □B □C □D □E	
	事業の概要			
		①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	⇒ □A □B □C □D □E	
	事業の概要			
		①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	⇒ □A □B □C □D □E	
	事業の概要			

中事業の評価結果

<b>事業診断(課長評価)</b>	
H22年度の課題	男女共同参画社会の理念が市民・事業者等に広く理解されるよう、更に取組みを推進し、また、引続き審議会等への女性委員登用率の向上のため、全庁的な取り組みを行う。
課題解決のための取組	男女共同参画社会の理念を市民等に広く周知し、困難を抱えた人の問題解決を支援するために、さまざまな場での啓発とPRに努め、女性相談の体制も充実させた。女性委員の登用率を上げるため、男女共同参画推進連絡会の推進管理者に働きかけを行うとともに、女性人材リストを整備した。
未解決の課題	男女共同参画社会の理念について市民・事業者等にさらに周知する。審議会等への女性委員登用率については、最終的に40%以上を目指す。
今後の方針	現在の施策を社会情勢等に応じて見直しながら、地道に継続する。
今後の方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止 ⇒ <b>B</b> ※ □事業完了 課長名 植地由美子

個別事業の概要

小事業名	ザイムスコード	個別事業名	22年度予算	22年度決算値	個別事業の評価結果	
男女共同参画啓発事業	主な個別事業	853 男女共同参画推進委員会報酬	184	154	■適切	□見直し余地あり
		853 男女共同参画フォーラム講師等謝礼	214	180	■適切	□見直し余地あり
		853 男女共同参画情報誌「パスポート」作成委託	492	491	■適切	□見直し余地あり
女性相談事業	主な個別事業	1150 女性相談員(電話相談)報酬	1,930	1,930	■適切	□見直し余地あり
		1150 面接相談員謝礼	528	517	■適切	□見直し余地あり
女性史編さん事業	主な個別事業	1153 女性史編さん員活動謝礼	60	60	■適切	□見直し余地あり
		1153 女性史編さん員養成講座講師謝礼	60	60	■適切	□見直し余地あり
		1189 女性史販売委託料	56	11	■適切	□見直し余地あり
	主な個別事業				□適切	□見直し余地あり
	主な個別事業				□適切	□見直し余地あり
	主な個別事業				□適切	□見直し余地あり